



日本スーパーマーケット協会

平成24年11月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	47,712,950 万円	100.0%	102.6% (101.0%)	45,402,540 万円	99.4% (97.6%)
食 料 品	38,961,090 万円	81.7% (82.7%)	102.0% (100.8%)	37,119,688 万円	98.7% (97.6%)
農 産	5,417,735 万円	11.3% (12.3%)	102.5% (99.2%)	5,171,051 万円	99.3% (96.0%)
水 産	3,864,712 万円	8.1% (8.0%)	100.8% (99.8%)	3,673,413 万円	97.4% (96.5%)
畜 産	4,751,956 万円	10.0% (9.6%)	102.8% (101.2%)	4,519,474 万円	99.6% (97.8%)
惣 菜	4,140,286 万円	8.7% (8.9%)	102.7% (101.7%)	3,925,043 万円	98.4% (98.0%)
日配食品	8,729,617 万円	18.3% (18.7%)	101.5% (101.1%)	8,320,387 万円	98.5% (98.0%)
加工食品	12,056,784 万円	25.3% (25.2%)	101.8% (101.3%)	11,510,320 万円	98.9% (98.2%)
生活関連	3,496,047 万円	7.3% (7.1%)	102.8% (100.7%)	3,367,800 万円	100.3% (98.0%)
衣 料 品	2,114,075 万円	4.4% (3.9%)	110.1% (101.6%)	2,025,913 万円	107.3% (96.6%)
そ の 他	3,141,738 万円	6.6% (6.3%)	105.7% (103.3%)	2,889,139 万円	101.9% (97.2%)

② 数 値

全店総売上高	47,712,950 万円	店 舗 数	4,311 店舗
総売場面積	8,419,865.4 m ²	総従業員数	221,958 人

店舗平均月商	11,067.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,789 円 (99.6%)
月間m ² 売上(前月)	5.7 万円 (5.8 万円)	平均店舗面積	1,953.1 m ²
月間坪売上(前月)	18.7 万円 (19.1 万円)	パート比率(前月)	77.2% (77.2%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 11月に入り気温が下がったことにより、秋物・冬物商品がようやく動き始めた
- ・ 鍋物、煮物、おでん関連の商品が各部門において動向が良かった
- ・ 競合各社の低価格競争により、低価格商品の動向が良く、客単価が伸び悩んだ
- ・ 生活関連品では、風邪対策のマスクやリップクリーム、ハンドクリームなど寒さ対策品が好調に動き、衣料品では、婦人・紳士共にジャンパーやダウンジャケット、機能性デニムパンツ、保温インナー、手袋、マフラーなどの動向が良かった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 鍋物商材（白菜、長ネギ、きのこ、春菊など）の動きが良かった
- ・ サラダ商材では、きゅうりやトマトが月間を通して相場が高騰し、単価が上がり売上は好調だった
- ・ 果物では、食味の良かったみかんが好調に推移した

○ 水産

- ・ 天然ぶりの水揚げ状況が良かったため、動向が良かった
- ・ 鮭類の安価を受け、サーモン切身、刺身いずれも好調だった
- ・ 鍋材料では、たら類が好調に推移した。また、牡蠣の動向も良くなってきた

○ 畜産

- ・ 牛肉は、うす切り、切り落としを中心に動きが良かった
- ・ 豚肉は、しゃぶしゃぶの動きは良かったが、かたまり・切身などの動きが悪く苦戦した
- ・ 加工肉は、ベーコン、焼き豚、魚肉ソーセージなど昨年好調だったため、本年は不調だった

○ 惣菜

- ・ 気温が下がり、和風煮物は好調に推移した。また、鍋焼きうどん、天ぷらうどんの冷蔵麺の販売量が増えた
- ・ 季節品のカキフライは、先月に引き続き動きが良かった

○ 日配・加工食品

- ・気温が低下し、練製品や焼き豆腐、うどんなどの動きが好調に推移した
- ・浅漬の影響で、漬物類の売上は11月も引き続き不振だった
- ・寒さが増し、鍋つゆ、すき焼き、おでん、煮込み関連の商品が好調だった。また、ラーメン、乾麺の動きも好調だった

○ 「ボジョレーヌーボー」について

- ・予約販売・店舗販売ともに好調だった
- ・低単価商品、ペット・ハーフサイズの動向が良かったため、単価はダウン傾向となった
- ・チーズや輸入チョコレートの関連陳列も奏功し、動向は良かった

○ 「七五三・ホットメニュー」について

- ・七五三マーケットは縮小傾向で、お祝いメニューの動きはあまりなかった
- ・鍋つゆ関係では、スンドゥブ・よせ鍋が好調に推移した
- ・気温が低く、入浴剤やカイロ、あったか肌着・下着などの動向が良かった。また、餅、生姜湯などの動向も良かった

○ 「ギフト・クリスマス・おせち予約」について

- ・産直ギフトは好調に推移するも、ハムギフトはやや苦戦している
- ・クリスマスのケーキ予約は、キャラクターケーキ、有名シェフシリーズの動きが良かった。また、アソートケーキ（詰め合わせ）の動きが良かった
- ・おせちの予約は、10,000円以下の動きが良くなっている。また、洋風おせちの動向が良好。3段重が苦戦し、2段重の動きが良かった

以上